

# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

捕ったネ!!  
 今年初ネズ  
 ミをハナが  
 01.14撮影



## 1 今の畑は



←01.18今年初めての野菜  
 宅配便、白菜・カブ・ホウレ  
 ン草・水菜・ノラポウ・小松  
 菜・長ネギ・ルッコラ・レタ  
 ス・花豆甘煮・沢庵漬・白菜漬  
 など。厳寒期に向かい野菜  
 の種類や数量は少ない。  
 農事通信の最新号も同封。



↑01.19風・霜除け防寒  
 ネット類を8枚重ねてる

1月にな  
 れば-8℃な  
 ど氷点下の朝  
 が続き、畑の  
 野菜は糖度を  
 増やし凍らぬ  
 よう必死に耐  
 えています。  
 水分の多い白  
 菜は全て収穫し保存、これから明  
 野は木枯らし吹く厳寒期に。

## 目次

1 今の畑は	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は?	1
3 畑でガンバって	2
4 昭和のお話し	2
5 チョコッと骨董話し	2
6 一月のお味	2

## ハイライト

大寒・初候1月20～24

日「款冬菜 ふきのはなさ  
 く」「款」は「款」の俗字  
 で、「款冬」はフキ(踏)を  
 さす言葉。フキの花が咲き  
 始める頃  
 という意味。フキ  
 はキク科  
 の多年草  
 で、雪解  
 けを待た  
 ずに顔を  
 出す。フ  
 キノトウ  
 はフキの



小さいウソ1992.11  
 に太宰府天満宮にて  
 大きいウソ2009.01  
 に龍山寺にて頂く。

花の蕾で「款冬花」とも呼  
 ばれる。春に向かってナナ  
 ミちゃんのお宿にもフキノ  
 トウやフキのメニューが登  
 場します。 全国の菅原道  
 真を祭る神社では毎年1月  
 に「鶯替え神事」が行われ  
 る。ウソはスズメ科の鳥  
 で、ウソが嘘に通じること  
 から、木彫りのウソのお守  
 りを取り換えれば、前年に  
 あった悪い事を嘘とし、新  
 しい年に吉を呼び込むこと  
 が出来ると信じられた。  
 郷土玩具が好きなトトモウ  
 ソが2つ、鶯替えをしてい  
 ない!!?モシカすると・・・  
 皆様も、お近くの菅原道真  
 を祭る神社へ、行かれては  
 いかがですか。

01.19←ブロッコリー  
 が凍って腐ってはい  
 ない? 野菜を虫が 食  
 べていない? →長期雨  
 無し暖かい午前中に、ブ  
 ロッコリーなどに液肥  
 で水遣り、他の野菜も  
 同様に。最後にネット  
 類を元に戻す。



↑カンズ カリワリ-残り1個  
 ↓ブッコリーは残り数個に

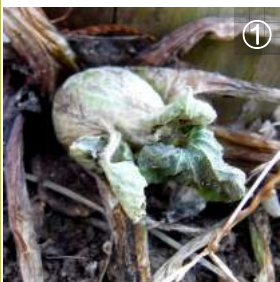


↑スナップエンドウ畝



←空豆  
 にも水  
 遣りを

## 2 「ナナミちゃんのお宿」は?

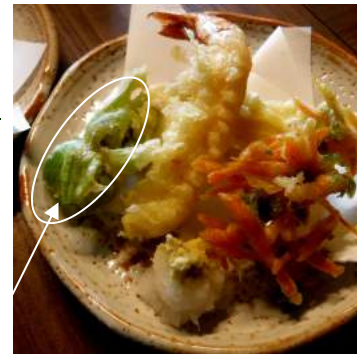


①



②

←①01.11庭の  
 踏畑、フキノト  
 ウが出ていた!!  
 ②翌日にフキノ  
 トウをキレイに  
 ひろげて。  
 →ランチで、初  
 フキノトウが天  
 プらで登場!



年末年始の休みも過ぎ鏡開きも  
 終わった頃、待望のランチのお客様  
 が来られた。よかった、閑古鳥が



↑ヒート&ブルベリッシュエート

巢を作ることなく「ナナミちゃんのお宿」も無事に営業再開。今年もよろしく  
 お願いいたします。



↑サラダ 朴の草・紅芯大根・水菜・  
 ブッコリー・水煮曙大豆・パプリカ・卵



↑冬の定番「揚げの袋煮」具  
 材が色々入って、煮汁がジュー

### 3 畑でガンバって



←01.19かすむ甲斐駒ヶ岳を畑から。カカは霜除けシートを開いて野菜の水遣り作業。  
↑寒さに強い露地の昔菜。

暖かいが雨無しの冬、畑や庭畑のにもガンバって生きている野菜が、畑の実生ルッコラは、訪れる虫もいない冬に花を長期間も咲かせ。畑で花を咲かせ実をつけてから、カカがパラパラ実を落とし発芽させたパクチーも。



↑01.19畑の実生ルッコラの花は霜にも負けずに開花



↑庭畑にある落とワラビの混在した場所に、霜除けネットをかける。←お宿前の畑には、露地の実生カカミールが毎年元気に発芽。



↑お宿前のパクチー

### 4 昭和のお話し



←炭俵に付けられた荷札「日本農林規格 白炭 15kg 山梨県」に五円の収入印紙 44.2.23:検印

↑友達から炭をもらった。なぜか懐かしい丸俵、俵の上と下には炭を押さえる網状に小枝が。→中身は灰かぶりの白炭、黒炭と違って真っ赤に焼かれた炭材を窯から出して、灰と砂を混ぜた中へ埋めて化させる。そのため炭は灰まみれに。



戦前から続いていた木炭配給統制規則は、昭和24年に薪の統制が廃止されたが、木炭の税制は残ったのでしょうか。35年池田内閣が高度経済成長を打ち出し、工業が多数の労働力を必要として、田舎から都会への人口流動が。同年に原油の輸入自由化でプロパンガスや石油コンロが家庭へ、炭を焼く人も少なくなり需要も激減。その様な時代、荷札には須玉検査所の検印が。昭和44年のお話。

### 5 チョッコと骨董話し



毎月、四日間だけオープンする須玉IC近く、国道141号線沿いのアンティーク「冬花」へ出かけた。お店のご夫婦と楽しいお喋り、石油カンテラを購入。

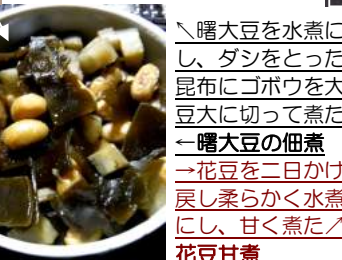
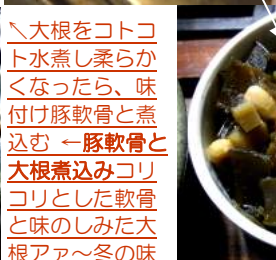


「カンテラ」庶民の生活に乾電池が普及していない時代、江戸時代の提灯ちょうちんなどに代わって、ローソクや石油、カーバイドなどによる炎の明りと、フリキなど新たな素材を利用した、風で消えない工夫がされた照明器具が。

### 6 一月のお味



暖かな冬とはいえ、一月ともなれば薪ストーブが活躍する季節。薪ストーブの天板に所狭しと鍋やケトルを並べ、湯を沸かしたり煮込み料理などをする。カカの冬一番の楽しみ。



↘大根をコトコト水煮し柔らかくになったら、味付け豚軟骨と煮込む ←豚軟骨と大根煮込みコリコリとした軟骨と味のしみだ大根アア〜冬年味

↘曙大豆を水煮にし、ダシをとった昆布にゴボウを大豆大に切って煮た ←曙大豆の佃煮 →花豆を二日かけ戻し柔らかく水煮にし、甘く煮た / 花豆甘煮

↘鏡開きの日に割ったお供え餅で →揚げアラシでおやつ作り